

"Great Wall" Street Journal

長城街日報

～中国株の現場から～

No.092 (不定期刊)

東洋証券株式会社
上海駐在員事務所 所長
奥山 要一郎
2007年入社。本社シニアストラテジ
スト等を経て、2015年より現職



サマーラリーは見通し良好で行こう！

「どの株が上がるんですか？」——。先日、上海で行われた異業種会合の場で、円卓を囲んだ日中双方のビジネスマンからこう聞かれた。折しも中国株相場が活況を呈しており、関心が高まっているようだ。こちらが教えてほしいくらいだよ……と心の中で呟きながら、とりあえず「金価格が上がっていますよねえ。白酒のマオタイは金と連動しやすいんですよ」という持ちネタをドヤ顔で披露しておいた。何のことはない。先日の当コラムと同じ内容である。

★ ★ ★ ★ ★

株価の動きを読むのは難しいが、経験則からある程度は推測できる。重視したいのは業績見通しだ。

米アップル向けに「AirPods」を製造する立訊精密工業（ラックスシェア、002475）と歌爾（ゴーテック、002241）。昨年来、いずれの株価も右肩上がりだ。「もう高くて買えないよ」という声も出てこようが、タイミングをうまく見計ればそんなことはない。

両社の昨年の株価チャートを見ると、年初から好業績見通しが相次ぎ、先行き良好ムードからの買いと、材料出尽くし感からの利益確定売りが交錯した。

指数を大きくアウトパフォームし始めたのは7月頃。8月21日に両社の1～9月期増益見通しが発表され、さらに10月下旬に19年通年の大幅増益見通しが出ると騰勢を強めた。市場は常に先を見て動く。

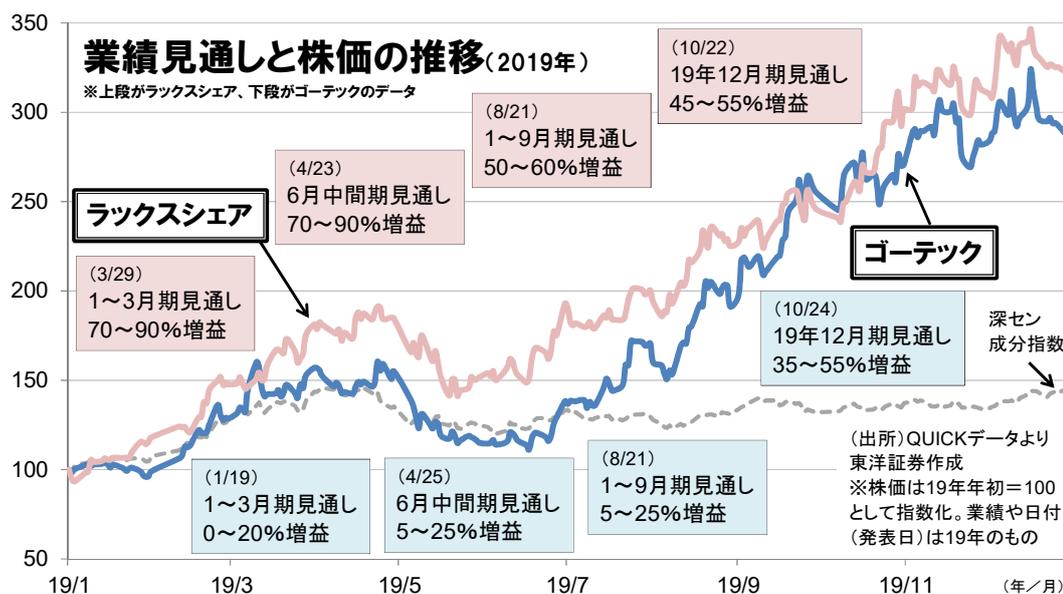
さて、今年2020年。ラックスはすでに4月28日に6月中間期での40～60%増益見通しを発表済みだ。ゴーテックは6月29日、同中間期で45～50%増益となる見通しを明らかにしている。発表日はゴーテックが8月21日、ラックスが8月25日の予定。ここでは、中間期実績と同時に1～9月期の良好なガイダンスが発表されるかどうか注目したい。繰り返しになるが、昨年、両社の株価は7月以降の右肩上がりが見られた。今年はどうなるだろうか。

6月中間期の好業績見通し（前年同期比）をまとめよう。光学電子部品の欧菲光集団（002456）は純利益が最大26倍に膨らむ見通し。建機の中聯重科（01157）は47.5～63.0%増益を見込み、レーザー機器メーカーの大族激光科技産業集団（ハンズレーザー、002008）は60～70%増益見通しだ。スーパーの聯華超市（00980）は「買いだめ需要」「巣ごもり需要」をうまく掴み30～50%増益見通し。バイオの薬

明生物技术（02269）は58%以上の増益を見込む。

★ ★

投資戦略に絶対はなく、完全無欠の正解もない。しかし、想像力を膨らませれば様々な方法が浮かんでくる。その一つは業績の丹念なチェック。これを意識しながら8月のサマーラリーに臨みたい。



文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

◆ 注 意 事 項 ◆

外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650%（税込み）の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650%（税込み）に相当する額が 3,300 円（税込み）に満たない場合は 3,300 円（税込み）、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買う場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して 最大 0.8800%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.75%となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

利益相反情報について

この資料の作成後、掲載された銘柄を対象とした EB 等の仕組債等を東洋証券株式会社が販売する可能性があります。また、東洋証券株式会社またはその関連会社の役員またはその家族がこの資料に掲載された企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

この資料は、東洋証券株式会社が信頼できるとされる各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。また、将来の運用成果等を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券株式会社は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

この資料の著作権は東洋証券株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

◇商 号 等：東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 121 号

◇加 入 協 会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◇本 社 所 在 地：〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1

TEL 03 (5117) 1040

<http://www.toyo-sec.co.jp/>

2020年7月31日
審査部審査済